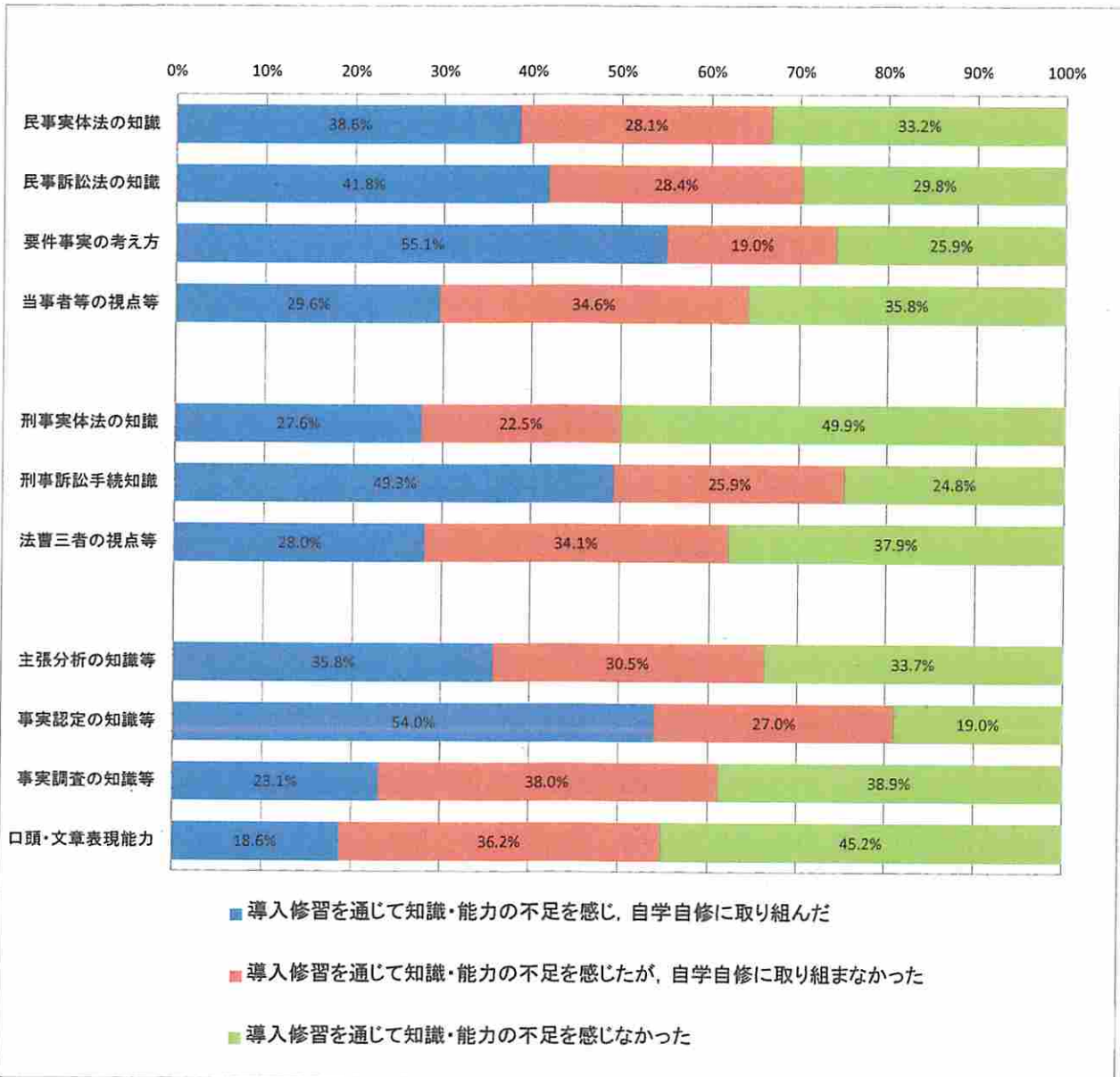


導入修習後の状況等に関するアンケート集計結果

○ 第69期司法修習生に対し、集合修習開始時にアンケート調査を実施した。
司法修習生1785人中1556人が回答(回答率87.2%)。

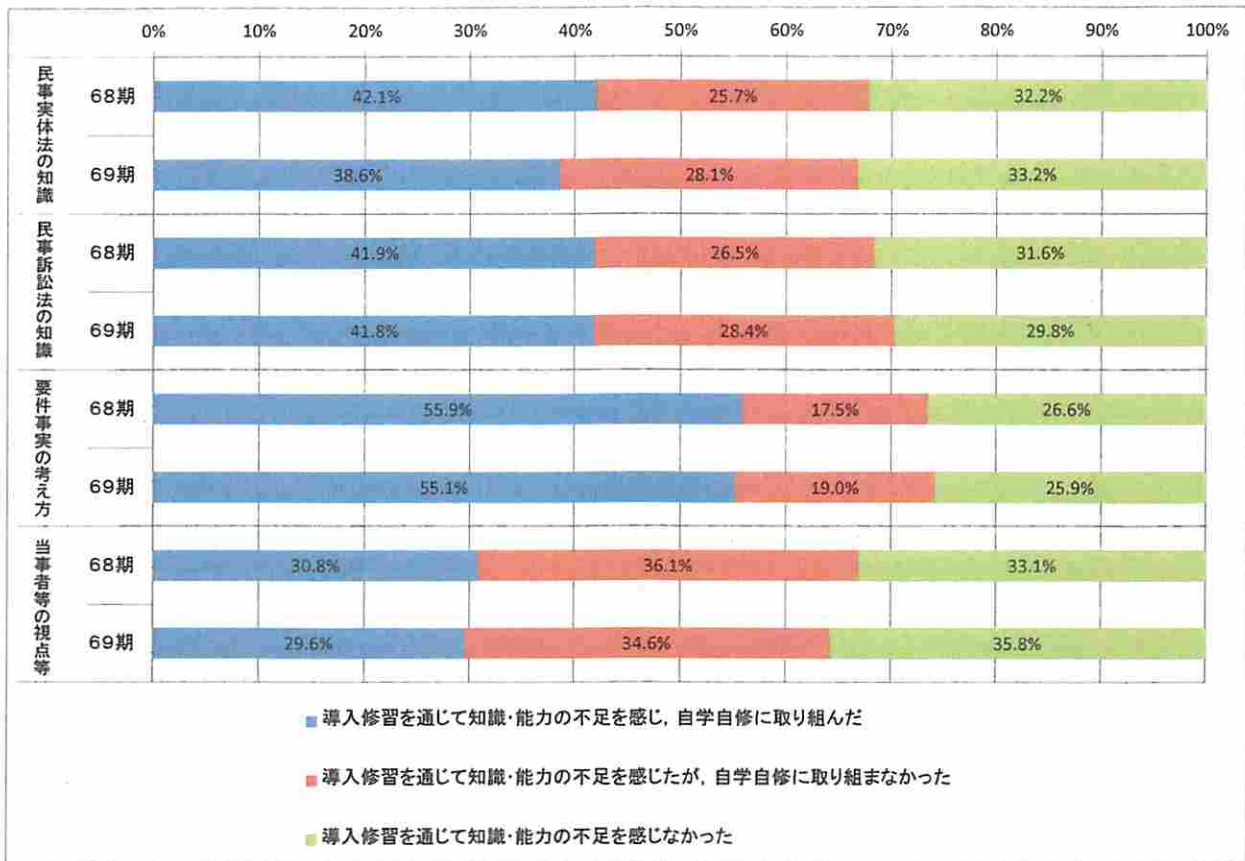
○ 導入修習を通じて知識・能力の不足を感じた者と、分野別実務修習中に自学自修に取り組んだ者の割合

(図表1-1-1)

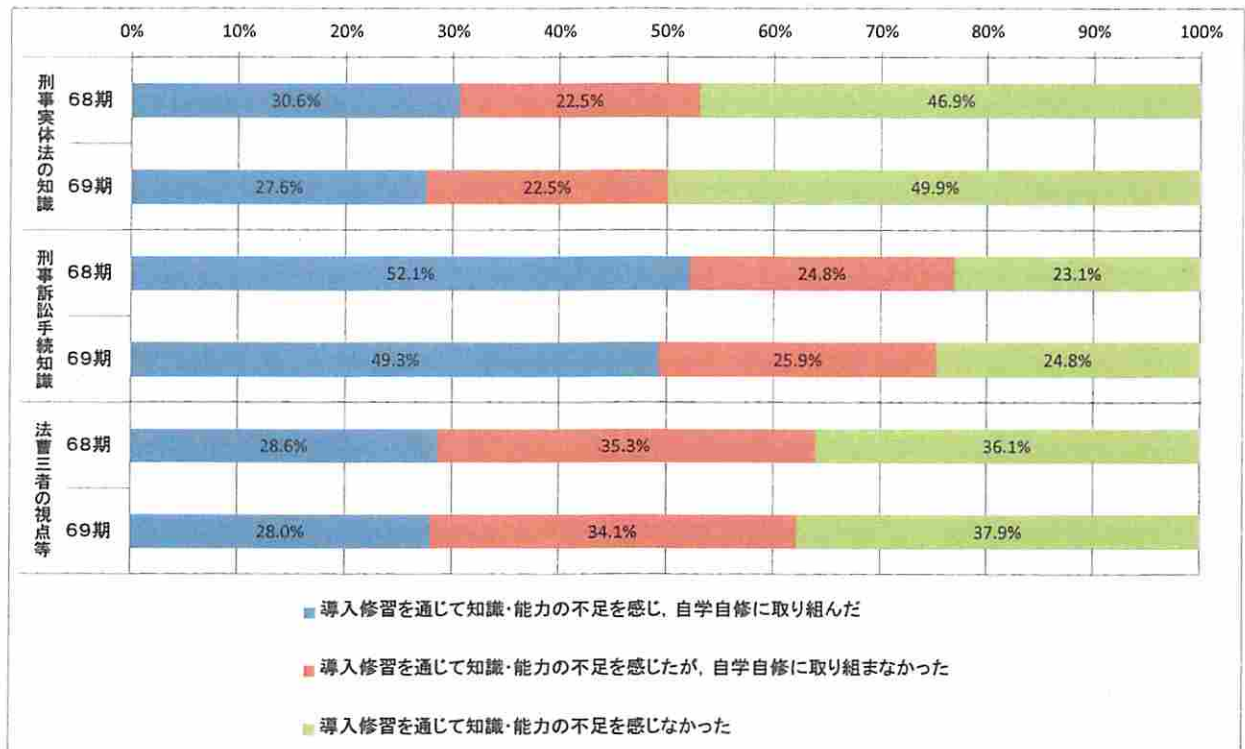


○ 68期との比較

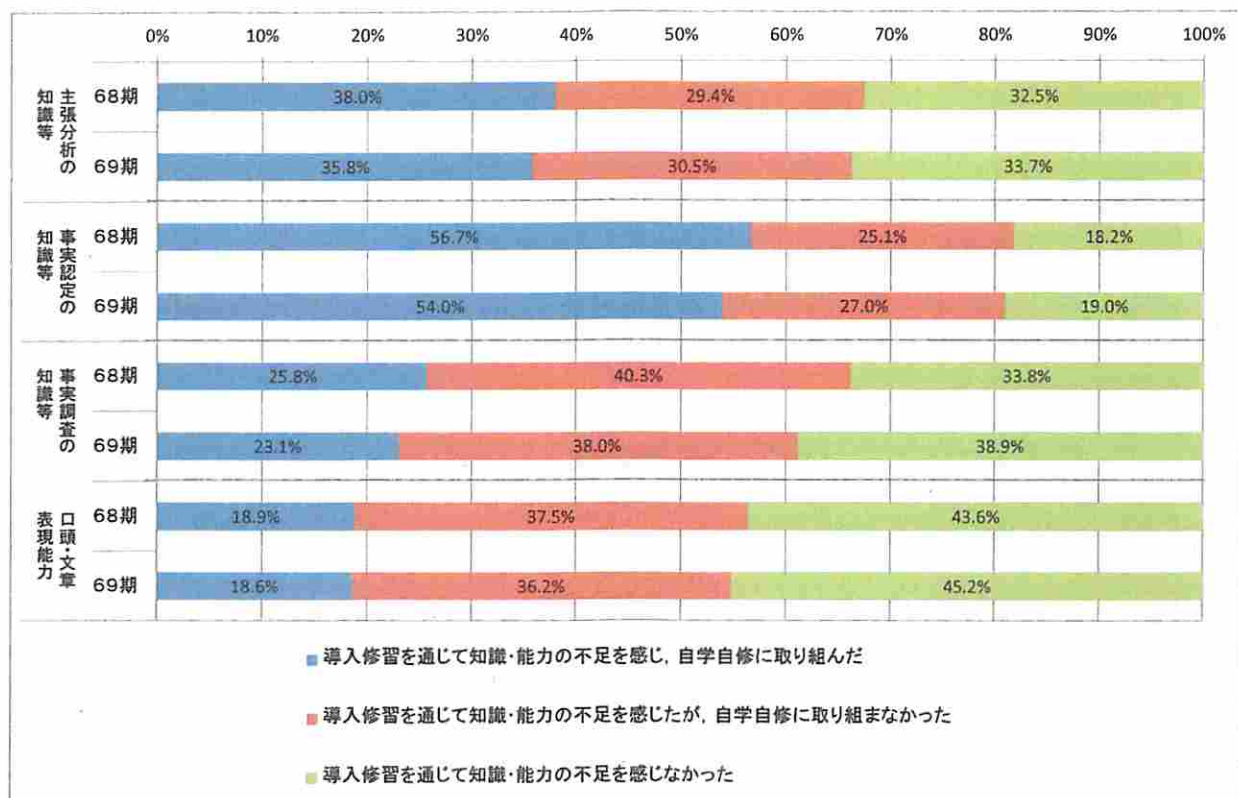
(図表1-1-2)



(図表1-1-3)



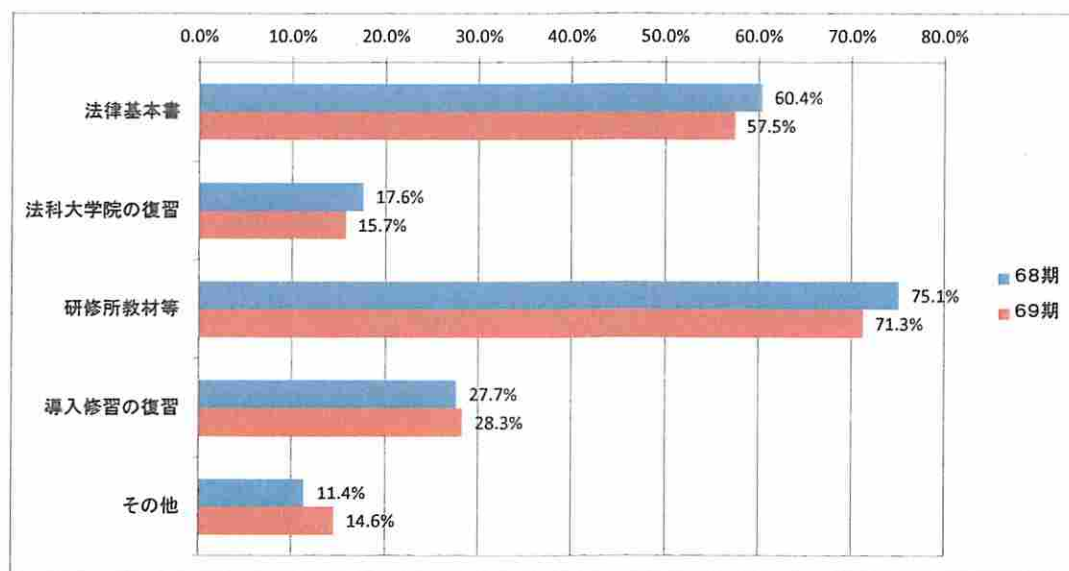
(図表1-1-4)



○ 自学自修の内容

(図表1-2)

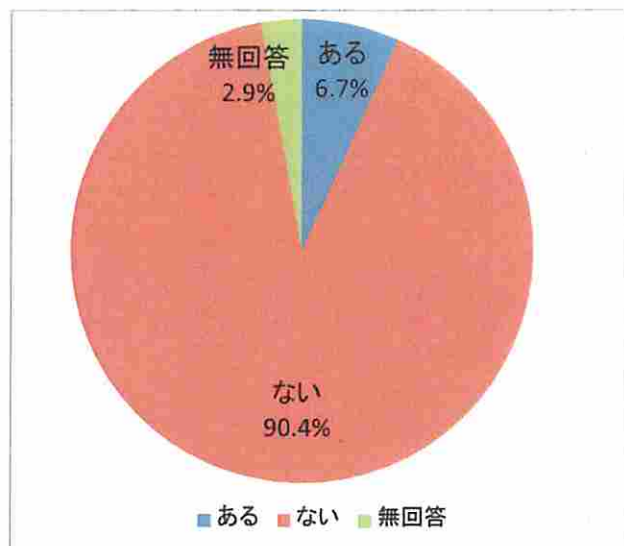
※ 自学自修の内容に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



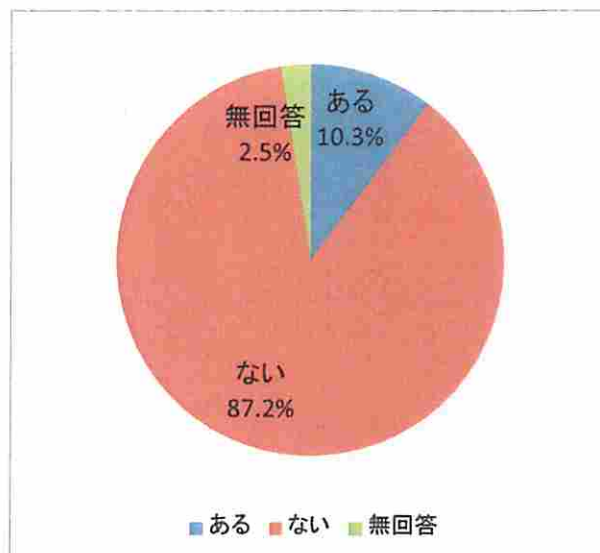
○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか(全体)
(図表2-1)

※ カリキュラムの中に「役に立たなかった」ものがあると答えた者の割合

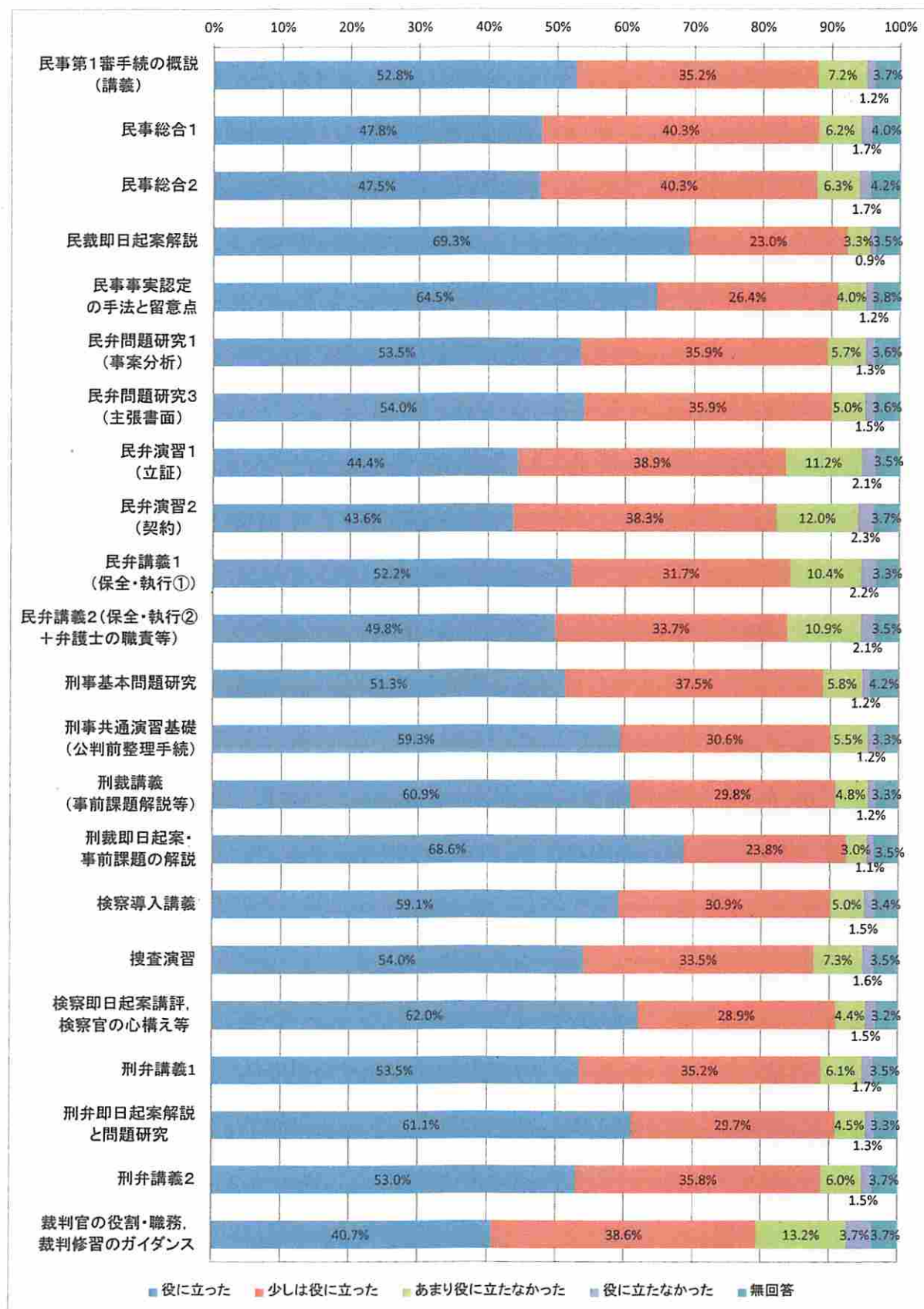
【69期】



【68期(参考)】

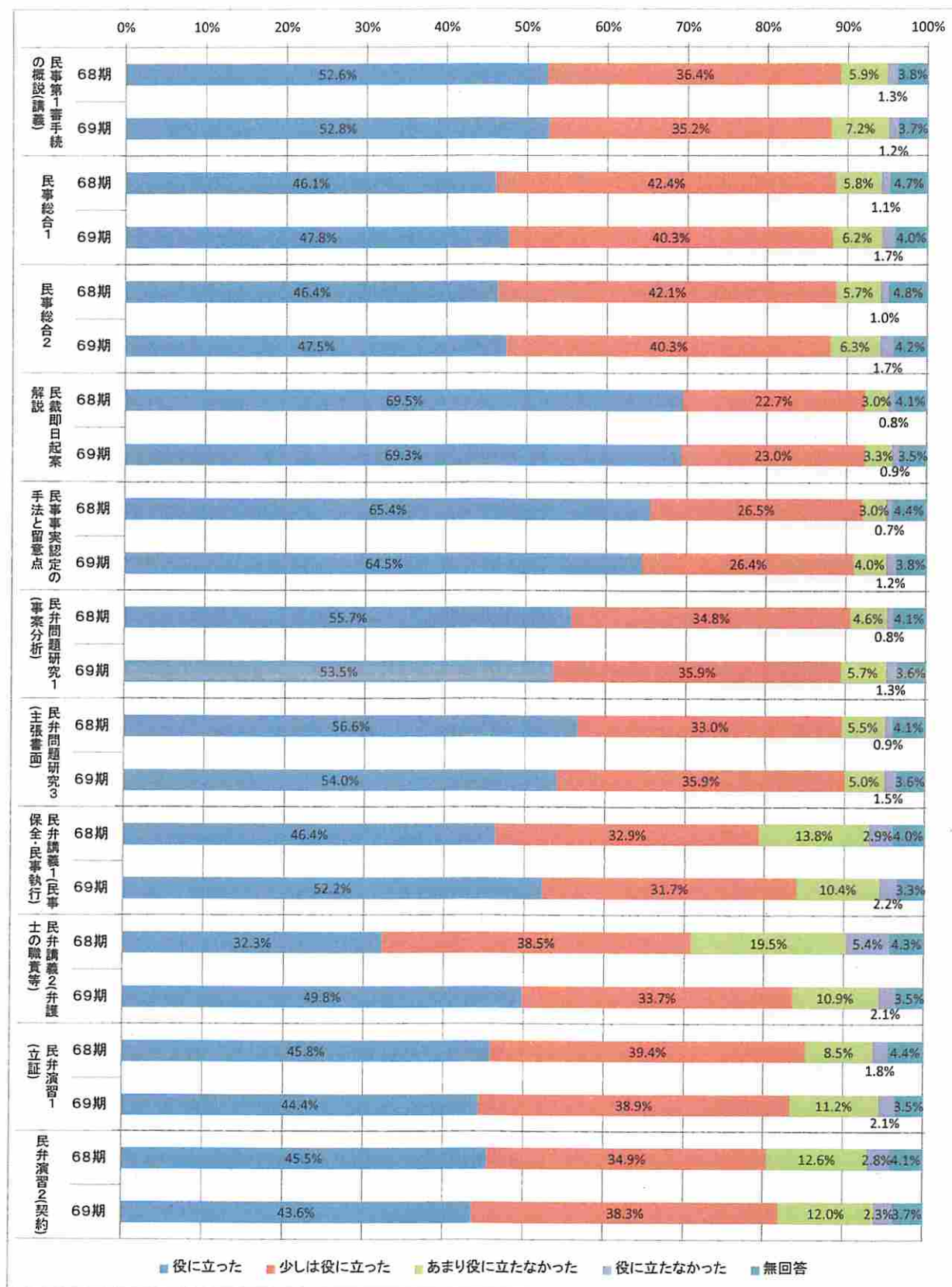


○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか(項目別)
(図表2-2-1)

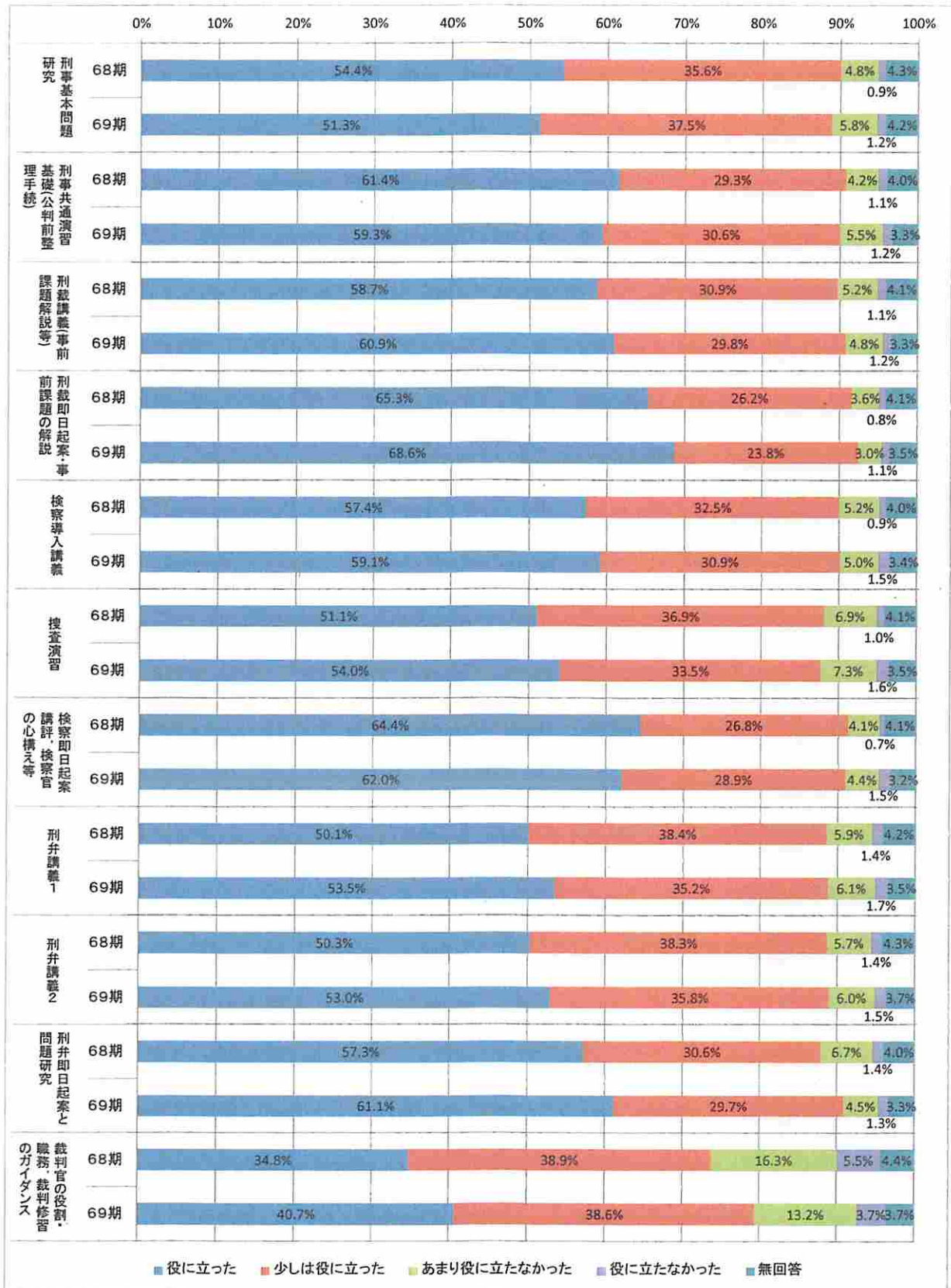


○ 68期との比較

(図表2-2-2)



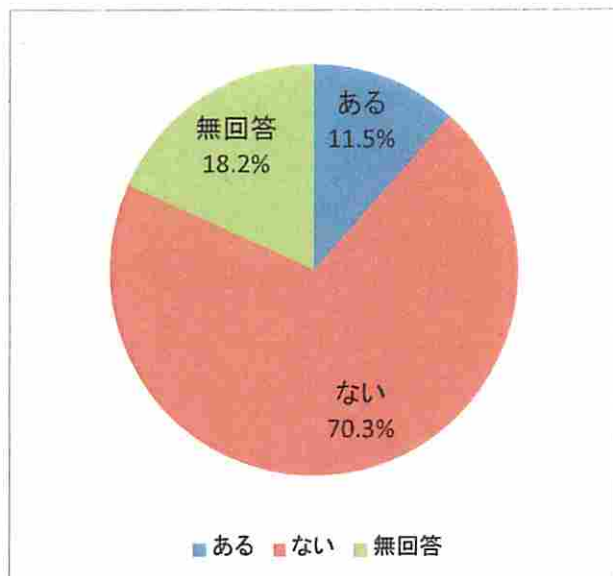
(図表2-2-3)



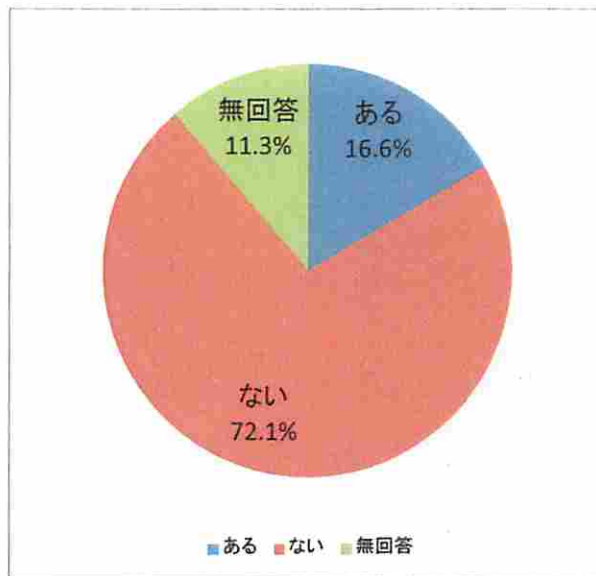
○ 分野別実務修習を円滑に行うため、導入修習の段階で学んでおきたかったことはあるか

(図表3)

【69期】



【68期(参考)】



【自由記載欄の回答状況】

・ 179人が「ある」と回答(全回答者中約11.5%)

・ 回答数(のべ人数)が多かった項目

- ① 起案・書面の書き方 28人
- ② 倒産法の知識 20人
- ③ 事実認定の手法 16人
- ④ 和解・示談に関する知識・技法 11人
- ④ 訴訟手続一般 11人
- ④ 家事事件の知識 11人
- ⑦ 執行・保全の知識 10人
- ⑦ 取調べの手法 10人
- ⑨ 法律相談・受任の手続 9人